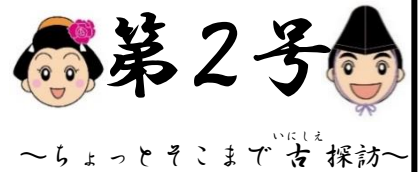


# 玉村町 文化財通信

2022年6月10日発行

(次号7月発行予定)



## 玉村町歴史どうぶつ散歩 連載スタート!

歴史資料には、動物がモチーフになっているものがあります。例えば、古代の鏡や埴輪、絵馬や狛犬など、実在する動物から空想の生き物までさまざまです。そんな町内の歴史資料に潜んでいる動物を探してみませんか？毎月おすすめの資料を紹介します。ぜひ、足を運んで実際に探してください。

今月のおすすめは、板井東部公民館(玉村町板井 1119-1)の敷地内にある、「庚申供養塔(こうしんくようとう) 元禄4年(1691)」です。庚申塔とは、中国から伝来した道教に由来する庚申信仰に基づいて建てられた石塔です。60日に一度、庚申(かのえさる)の日が巡ってきます。この夜眠ってしまうと、人の体内にすんでいる三尸(さんし)が身体から抜け出し、人の悪事つまり罪を天帝(てんてい)に報告に行き、悪事が500に達するとその人は必ず死んでしまう。そこで人は、不老不死を得ようと庚申の夜は眠らずに、三尸が天帝に報告に行くのを止めなければなりません。このことにちなんだ動物が石塔に彫られています。



まってるワン♪



潜んでいる動物を発見したら、スケッチしてみませんか!?

## イラスト募集!

今後みなさんのスケッチをもとに、『玉村町歴史どうぶつ散歩マップ』を作成したいと考えています。ぜひご協力ください！資料館へイラストをお持ちいただいた方には、プレゼントを差し上げます☆

## 歴史資料を残す事

現在展示中の人形は、町内の方からご寄贈いただいたものです。捨てる時流の中、作家の五木寛之さんが『捨てない生きかた』で、残されたモノによって自らの回想ができることに触れられていることなど、捨てるのが注目されつつあります。いわば、残されたモノが地域単位で残されると、歴史資料となり地域史が浮かび上がってくるのではないのでしょうか。

## 令和3年度 新収蔵資料・遺跡調査展

7月3日(日)まで開催中!

会場：歴史資料館内常設展示室内フリースペース  
時間：午前10時～午後4時  
休館日：月・火・水曜日、祝日

## 重田家住宅～公開・活用にむけて②～

活動報告です。

5月15日に「地元向け説明会」、5月29日に「写経体験会」(右写真)を開催しました。



また、平日の水～金曜日の10時から16時までですが「常時公開」を開始することとなりました。まだまだ「点検整備」や「清掃管理」作業と同時並行の利活用となりますが、みなさまどうぞよろしくお願いたします。

なお、裏面のご案内の通り、毎月催事を開催する予定ですので、どうぞお楽しみに～♪

公開情報：平日の水・木・金曜日 10時～16時

# 6月 文化財・歴史資料館 情報

しげ たけじゅうたく

## 重田家住宅イベント

### ～古民家で一日限りのシアター体験～ ミニ映画会

日時：令和4年6月26日（日） 午前9時～11時

場所：重田家住宅（玉村町小泉42番地）

内容：映画上映会「漂泊」

プロデューサー町田昌美氏の撮影秘話をご紹介します。

群馬県佐波郡玉村町の五料地区で行われている郷土芸能「水神祭」を背景に、将来に悩む若者たちの成長を描く青春ドラマ。監督は「グラス☆ホッパー」の藤橋誠。

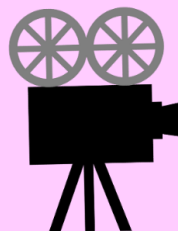
定員：先着15名

申込方法：6月16日（木）より電話または文化財係窓口にて受付

※参加無料です。

※事前申し込みが必要です。

※駐車場は重田家住宅南側に約20台あります。



国登録有形文化財

## 重田家住宅

一門をくぐるだけで治ると言われた医師の家

KOIZUMISHIGETA

### ゆかたで楽しむ七夕まつり

日時：令和4年7月9日（土）

場所：重田家住宅（玉村町小泉42番地）

① 短冊に願いをこめて 午後7:00～8:30

② 笹・庭園内のライトアップ

午後7:00～8:30

③ ゆかた着付け教室（講師：玉村きもの愛好会）着付けおまかせコース・着付けをじっくり学ぶコース 午後5:00～7:00

※着付け教室は事前申し込みが必要です。

定員：先着15名

用意するもの：ゆかた、半巾帯、下着一式、

腰ひも3本、タオル2本、履物（草履・下駄）

申込方法：6月21日（火）より電話または文化財係窓口にて受付

※参加無料

※ゆかたでご来場いただいた方に、歴史資料館グッズをプレゼントします♪

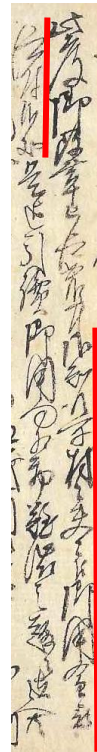
## 古文書を読んでみよう！

幕末の玉村の中心的人物であった渡邊三右衛門陳好の記録である『三右衛門日記』の中の「安政二年五月十二日地頭御用金上納督促状」を毎回少しずつ読んでいきます。第二回目はこの文章を読んでいきましょう。（右線部分）

書き下し文：御知行所村々夫々江御用金被仰付候処、読み方：ごちぎょうしよむらむらそれぞれへごようきんおおせつけられそうろうところ、現代語訳：知行所が村々それぞれへ御用金について言いつけられたところ、

（次号へ続く）

○玉村町誌別巻Ⅳ（三右衛門日記一）～別巻Ⅴ（三右衛門日記五）歴史資料館にて好評発売中！



☆ 発行 ☆

玉村町生涯学習課文化財係・玉村町歴史資料館（電話）0270-30-6180

〒370-1105 群馬県佐波郡玉村町大字福島325番地 玉村町文化センター内

